

受験経験者のための

戦略的学習法

TAC社会保険労務士講座 講師 武田 暁

1

I ・ 社会保険労務士試験とは 1. 過去5年間の合格率

2

	R2	R3	R4	R5	R6
申込者数	49,250	50,433	52,251	53,292	53,707
受験者数	34,845	37,306	40,633	42,741	43,174
受験率	70.8%	74.0%	77.8%	80.2%	80.4%
合格率	6.4%	7.9%	5.3%	6.4%	6.9%

合格率は5～6%（100人中5人から6人）

受験率が近年アップしている

※税理士・司法書士に近くなっている
真剣に獲りに来ている

2

I・社会保険労務士試験とは 2.合格者の内訳

3

令和6年試験合格者の年齢構成

20歳代以下：11.8%
30歳代：32.5%
40歳代：28.9%
50歳代：19.2%
60歳代以上：7.6%

男女別構成

男性：61.1%
女性：38.9%

社労士試験の特徴

年代は幅広い層が合格している
⇒**記憶力勝負**ではない

女性合格者の比率も高い
⇒**法律試験に特化していない**

士業では社労士は女性比率が最多

他の法律資格とは違う面があります

3

II・戦略は戦術を凌駕する 1.なぜ社労士学習をするのか

学習方法（戦術）を考えるのは大切です
でも受験経験者が最初に考えるのは
なぜ？社労士学習をするのか（戦略）

戦略
社労士学習をする目的



戦術
学習方法

再受験には、再度学習をするのかの目的を明確に

4

Ⅱ・戦略は戦術を凌駕する 2.社労士としての知識はある

きちんと学習をした人は

- ・知識は習得している
- ・社労士の試験範囲は学習している
- ・資格がなくても仕事はできる

学習としては十分
試験で結果が出な
かった

社会保険労務士の知識は身につけた



社会保険労務士の資格が欲しい

貴方の気持ちは
どちらですか？

5

Ⅱ・戦略は戦術を凌駕する 3.戦略は合格する

もう一度社労士試験にチャレンジする理由

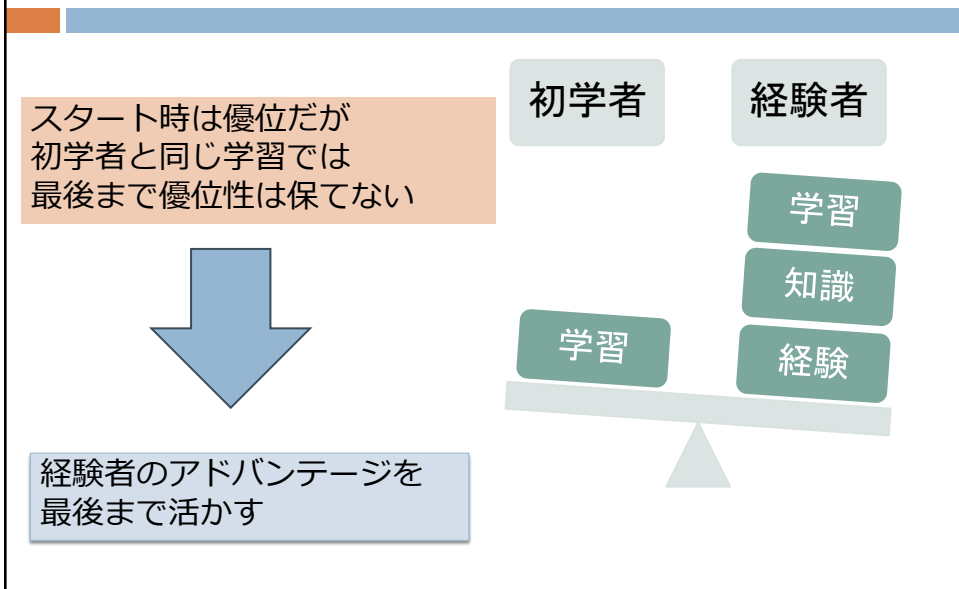
社会保険労務士試験 合格

もっと学習したい
知識を深めたい
そんな理由もあるでしょうが
でも、本当の気持ちは合格です
合格するための学習を行いましょう

社会保険労務士の資格
が欲しい
再受験するときは、
その気持ちを明確に

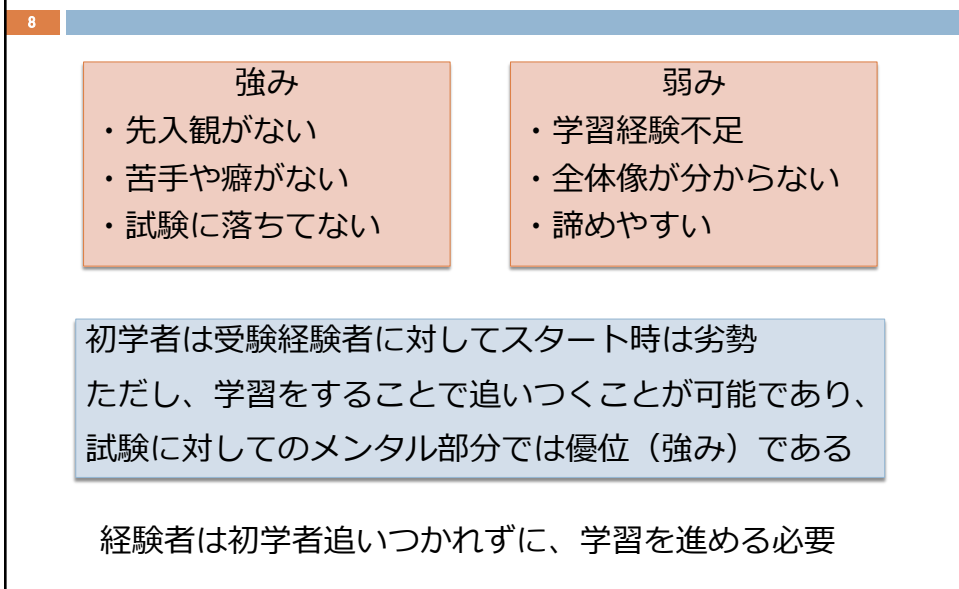
6

Ⅲ・合格する学習方法 1.受験経験者のメリット



7

Ⅲ・合格する学習方法 2.初学者のメリット



8

IV・経験者の優位性

1. 学習経験がある

年間の学習スケジュールは経験済み

仕事やプライベートの繁忙に合わせて

学習の先取りや後回しが可能

受験経験者：学習計画を自分でアレンジできる

初学者：基本は講座日程に合わせて学習

自ら学習計画をプランニング出来るのは大きな強み

9

IV・経験者の優位性

2. 知識がある

- ・ 学習経験があるので、早期に過去問に取り組める
※1問1答でなく、5肢択一問題（TAC 過去5年）
- ・ 進行中の科目だけでなく、復習や予習ができる

早期に過去問に取り組むことが大切です（本試験形式で）

初学者は、最低でもその科目の学習を終了しないとできない

又、経験者は学習の振り返り、先取り（確認）ができる

例：労災学習中でも①労基の復習②年金科目の確認

10

IV・経験者の優位性

3.社労士試験を知っている

社会保険労務士試験は、得点上位者から合格ではない
選択・択一共に各科目の基準点をクリアし、総得点を獲得

正解率90%

選択：36点

択一：63点

基準点割れ有り

総得点 99点

正解率70%

選択：28点

択一：49点

基準点割れ無し

総得点77点

総得点99点が不合格で総得点77点が合格

現在の社労士試験は77点（70%）も点数は必要ない

社労士試験は理不尽です

11

社労士試験は理不尽

年1回の試験をマークシートで合否を決定する

知識

合格

知識

知識と合否は一致しない、運の要素も大きい

でも、それが社労士試験

資格が欲しいのなら、ルールに文句を言っても仕方ない

運の要素を少なくする必要

12

V・合格する学習方法

1.目標点を定める

目的：社会保険労務士試験合格（資格を取得する）

目標：試験の点数（合格点数を獲る）

試験は目標の点数を定めてそれに向けて学習するのが大切です

どんな成果を得るかを決定し（**得点**）

それを達成するために投入する（**学習時間**）

自分はどんな学習の成果を求めるのか（**何点獲得するのか**）

具体的な目標を持つことが合格への秘訣

13

V・合格する学習方法

2.到達点を定める

選択式・択一式ともに7割で合格

選択3点以上・択一4点以上獲れば、あとは自由

選択式 40問	択一式 70問
28点	49点

	労基	安衛	労災	徴収	雇用	徴収	労一	社一	健保	国年	厚年	合計
選択				×		×						
択一												

自分の合格の形を決める

14

V・合格する学習方法

3.合格のための学習を行う

難問・奇問問題への対策をしようとする
より深く学習をしようとする
実務的な知識を調べようとする

社労士試験合格には非常に非効率です

合格する学習は基本を叩き込むことです
高得点はいらない、合格ラインをクリアする

15

V・合格する学習方法

R6年 試験問題分類

◎：確実に得点 △できれば得点 ●得点は厳しい

択一：70問

◎38問(54%) △21問(30%) ●11問(16%)

◎で90%(34点) △で50%以上(11点) 45点

選択は労一以外は◎が3問以上

労一は◎が2問 △が3問(1問獲りたい)

16

V・合格する学習方法 R6年 試験問題分類

健康保険：◎1 △6 ●3

このような理不尽な出題もあるが、
健康保険で躓いた人は、2パターンあります

A：健康保険が出来なかった

B：その後も引き摺ってしまった

Aの人は不運ですが、Bの人は考え方で防げたはずですが
社労士試験はこういう試験だと

健康保険で基準割れは運がなかったといえる
他の科目に影響を出した場合は防げた失点

17

V・合格する学習方法 社労士試験は落とす試験

国家資格は知識があるのは前提で、そこから選抜
⇒検定試験との大きな違い

社労士の試験科目は、労基等一部を除いて手続法
考えて解くよりも、知っているか知らないかで決まる
⇒単純な保険給付は高得点が取れてしまう

作問者は色々工夫して問題を作成している
又、高得点を取れるような問題を作成しない

18

V・合格する学習方法 4.問題演習を中心に

経験者は過去問は既に経験があるので軽視しがち
でも、経験者ならではの問題演習をしましょう
○×にこだわらず、問題の論点を考える
正解・不正解でなく根拠を考える
初学者と経験者で一番差がつく部分です

基本問題を確実に、自分のものにするための
問題演習を行う
初学者はこなすので精一杯になりやすい部分です

19

作問者の意図



0点 50点 100点

中央値に最多の人数になるような点数分布が理想
そのために、出題に工夫している
単純な過去問の焼き直しは減少しているが
論点は変わらない

法律の趣旨が変わらなければ、論点は変わりません

20

TAC 社労士講座

TACでは、様々な社労士試験合格への講座があります

初学者向：Wide・1.5年本科生

初学者・経験者：総合本科生

受験経験者に特化したコースが上級本科生です

上級>総合ではない

目標は社会保険労務士試験合格です

松竹梅のようなランクではない、経験者コースです

一定の知識があれば、上級=難しいと考える必要はありません

21

TAC 上級本科生

講義

ミニテスト

科目別答練

講義は本試験の出題ポイント中心

ミニテストは過去問で行う(スタートから過去問)

科目別答練習は本試験への応用力を付ける

学習段階から実戦形式のプログラム

22

合格テキスト

条文を記載

趣旨・概要を記載している

例題問題がある

市販教材(辞書的)

過去10年の出題範囲を記載

経験者向

広く網羅する

細部の論点は「資料編」と本文と区分けして、重要度にメリハリ

受験経験者向けのテキスト

問題演習⇒合格テキストへの確認が効果的

23

まとめ

今年度、惜しくも不合格だった方

再度、社労士試験については

やるか やらないかです

やるのであれば

合格を目指した学習をして

来年は笑って合格発表日を迎えましょう

24